



ひまわりノ畑



教育目標 思索・和敬・剛健

学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう

<http://www.kivose.ed.jp/kivosedaijibutyuuazakou/index.htm>

季節の料理 ^{はんげしょう}“半夏生” ^{めし}に ^{しゅん}タコ飯、そして ^{なつやさい}清瀬産旬の夏野菜

雑節

日本には、季節の節目ごとに無病息災や豊作を祈願する風習や行事がありますが、7月2日は、夏至の日から11日目にあたる「半夏生」と呼ばれる日でした。田植えを終える目安とされ、豊作を祈願する風習があります。馴染がないかもしれませんが「雑節」の一つです。古代日本に“二十四節季”（立春、夏至など）という季節の区分が中国から伝わりましたが、それに加えて、日本特有の気候の変化や農作業などの目安とされたのが、日本独自の“雑節”（八十八夜⇒立春から88日目、土用⇒立秋・立冬などの直前18日間）などです。



五節句

7月7日は七夕ですが、これは「五節句」の一つです。中国から伝わった思想と、日本古来の信仰などが融合して、宮中の季節行事として行われていたもので、江戸時代に幕府が祝日行事としたことで、庶民にも広がり、季節行事として定着しました。他に1月7日（人日の節句（七草の節句））、3月3日（上巳の節句（桃の節句））、5月5日（端午の節句（菖蒲の節句））、9月9日（重陽の節句（菊の節句））があります。

日本の季節行事には、「二十四節季」、「雑節」、「五節句」だけでなく、宮中行事や神事、民間信仰などに由来するものが多々あり、その行事に合わせての料理やお菓子なども色々あります。

給食（食育）：季節の行事料理・旬の夏野菜を地産地消でいただく



季節ごとの行事やお祝いの日に、家族の健康や幸せを願ったり、自然への感謝や豊作祈願などをしながら食べる特別な料理を「行事食」といいます。半夏生ではタコの足のように根が育ちますようにとタコ料理（関西地方が中心）、七夕では、天の川や機織りの糸に見立てたそうめんです。

給食でも食育として、行事食を意識した献立が登場しています。7月2日はタコ飯、7月7日はそうめんの代わりにうどんでしたが、☆の形をしたカマボコとナタデココが、天ぷらうどんとデザートに入っていました。

さらに、今が旬な清瀬産夏野菜も登場しています。ひまわり農園でお世話になっている岩田さんから、枝豆(6/25)、カレーピラフのピーマン(6/29)、タラのラビコットソースのトマト(7/1)、清水さんから味噌汁のチンゲン菜(7/2)、そして新井さんからはトウモロコシ(7/3)を納品していただきました。清瀬の土・水・空気ですぐれた新鮮な野菜を給食でいただけるのは、美味しく嬉しいだけでなく、食の安心安全につながります。そして地産地消は【SDGs 目標 13「気候変動に具体的な対策を」：輸送にかかるエネルギーとCO2の削減】、【目標 8「働きがいも 経済成長も」：地域経済の活性化などにつながる取り組み】にもなります。



「短冊に願いを」セタイベント 生徒会企画 7/1(水)～7/9(木)

生徒会役員の皆さんが、セタイベントとして、生徒玄関のホールに、笹竹を2本設置して、短冊を生徒教職員に配ってくれ、早速願いごとを書いて、飾りました。

■笹竹飾りの短冊は、寺小屋から始まった？

七夕の笹竹飾りは、江戸の町民文化として生まれて全国に広まったようです。戦がなくなり平和になった江戸時代、庶民の子供たちも、寺小屋で読み・書き・算術などを習うようになり、七夕の日に、文字の練習と上達の願いを込めて、短冊に和歌や願いごとを書いて、楽しむようになったとの説もあります。寺小屋から始まった笹竹飾りは学校にはピッタリのイベントだと思います。



元バスケットボール日本代表 宮崎 早織 氏 講演会 & 実技体験授業

《笑顔と学びの体験活動プロジェクト 東京都教育委員会事業》 7/3(金)



7月3日(金)の午後、東京都教育委員会が実施している「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」により、元バスケットボール日本代表で、東京・パリの両オリンピックに連場され、活躍された宮崎早織氏をお招きして、特別授業を開催しました。

5校時は、全校生徒を対象に、本校の体育科教員2名とのトーク形式の講演会で、これまでのバスケットボール人生を通じた経験を交えながらのお話を頂き、生徒からの質問にもお答えいただきました。宮崎さんの言葉から、夢を叶えるには、自分がそこにいるイメージを持ち、絶対にそこに行くという思いを持ち続け、努力するのは当然なことで、努力を続ける努力をすることが大切なのだというメッセージを頂きました。そういえば昨年、元サッカー日本代表坪井氏のご講演でも、「夢や目標を持って、そこに向かう道のりをイメージして、今やるべきことをやり続けることが大切」と話されていました。日本を代表する方々は、同じように、「継続することの大切さ」を心に置いているのだと感じました。本校が創立から掲げる校訓は「継続」です。

6校時は、3年生を対象にして、バスケットボール講習会を実施してもらいました。クラス毎に10分間の基礎実技指導を受けるグループと5分間のミニゲームを行うグループに分かれ、計6つのセクションを行い、生徒全員が宮崎さんと一緒に、バスケットボールを楽しむことができました。ミニゲームでは、応戦する生徒たちから、大きな声援が送られてとても盛り上がりました。また一つ、良い五中の思い出になりました。



「服のチカラプロジェクト」 SDGs & 国際貢献 2年 総合 7/3(金)

2学年の総合的な学習の時間では、SDGsの視点を学習の柱のひとつとしています。6/25(木)に実施した東京巡りでも、[【SDGs 目標 11：住み続けられるまちづくり】](#)の視点で「清瀬のまちづくり」のヒント探しがテーマのひとつでした。

そして7/3(金)には、ユニクロなどを展開するアパレル会社のファーストリテイリング(株)さんより、講師を招き、当社が進める“届けよう服のチカラ”プロジェクトについての講演会を開催しました。服をはじめとして、私たちが使う「物」を生産際に生じる環境負荷の視点から、リサイクル・リユースによる循環型社会を目指す大切さ [【SDGs 目標 12：つくる責任 つかう責任】](#) を学びました。

さらに、再利用を広めるだけでなく、世界各地に1億2千万人以上もいて、厳しい生活を送っている難民キャンプの方々へ届け、オシャレという「服の持つ癒しのチカラ」で、気持ちを明るくしてもらうとともに、衛生的な生活環境作りの手助けをするという国際貢献・人道支援・貧困対策という形もあること [【SDGs 目標 1：貧困をなくそう、目標 10：人や国の不平等をなくそう】](#) も教わりました。



この事業は、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)など世界中のNGO・NPO団体と協力をして進めておられるそう、本校でも2学年を中心に2学期での参加 [【SDGs 目標 17：パートナーシップで目標を達成しよう】](#) について検討をしています。



ひまわりの種を蒔きました。《花のチカラプロジェクト》 7/3(金)

先日、チューリップの球根を掘りおこした中庭と体育館横の花壇に、ひまわりの種を蒔きました。この種は、「清瀬市ひまわりフェスティバル」用の種を分けてもらったものです。この種は55日で開花する早生タイプの種類で、夏休みの後半の8/27(金)に、地域の方を招いて、中庭で開催予定の「ひまわりコンサート(協賛：学校支援本部、清瀬社会福祉協議会)」に合わせて種蒔きをしました。作業には生徒会の呼びかけで、80名超のボランティア生徒が参加し、教職員や地域の方を合わせると、100名弱で行ったので、20分ほどで終わることができました。ありがとうございます。心配なのは夏の猛暑です。ひまわりの成長に適した気温は20~25℃で、35℃を超えると成長が止まると言われていますので、気温を気にしながらの夏休みになりそうです。

